

RETISSA ON HAND が 「情報アクセシビリティ好事例 2024」に選定されました

総務省が公表する『情報アクセシビリティ好事例 2024』に、当社の RETISSA ON HAND が選定されました。網膜に直接投影する革新的な技術を製品化し、ロービジョンの方々に新たな「見る」機会を提供したこと、レンズに代わる新しい拡大方法であることなどが評価されました。
また、総務省が構築し、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT:エヌアイシーティー)が運用しているデータベース、情報アクセシビリティ支援ナビ(Act-navi :アクトナビ)に掲載されています。



情報アクセシビリティ好事例

■総務省プレスリリース

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu05_02000172.html

■情報アクセシビリティ支援ナビ Act-navi RETISSA ON HAND 製品ページ

https://www.actnavi.jp/products_service_db/detail/164.html

■網膜投影による鑑賞のアクセシビリティ向上を目指して

QD レーザは、文化・芸術鑑賞のアクセシビリティ向上を目指し、劇場・美術館・博物館・動物園・水族館・図書館・スポーツ施設といった施設で、網膜投影型視覚支援機器を利用したイベントを実施しています。今後さまざまな文化・芸術施設において、網膜投影が見えにくさのある方にとっての鑑賞をサポートする新たな選択肢になることを目指しています。



【RETISSA ON HAND】

視力に影響されない網膜投影を手軽に利用できる手持ち型の視覚支援デバイス。
遠近あらゆるものの”見えにくさ”をなくし、日常をより良いものにすることを目指しています。

* 『RETISSA ON HAND』は医療機器ではなく、特定の疾患の治療や補助、視力補正を意図するものではありません。見え方には個人差があります。障がいのある部位・程度によっては映像の認識が難しい場合があります(網膜全体の機能が低下している場合など)。

* 『RETISSA』『ON HAND』は株式会社 QD レーザの登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社 QD レーザ 視覚情報デバイス事業部
メール:vid-sales@qdlaser.com

以 上